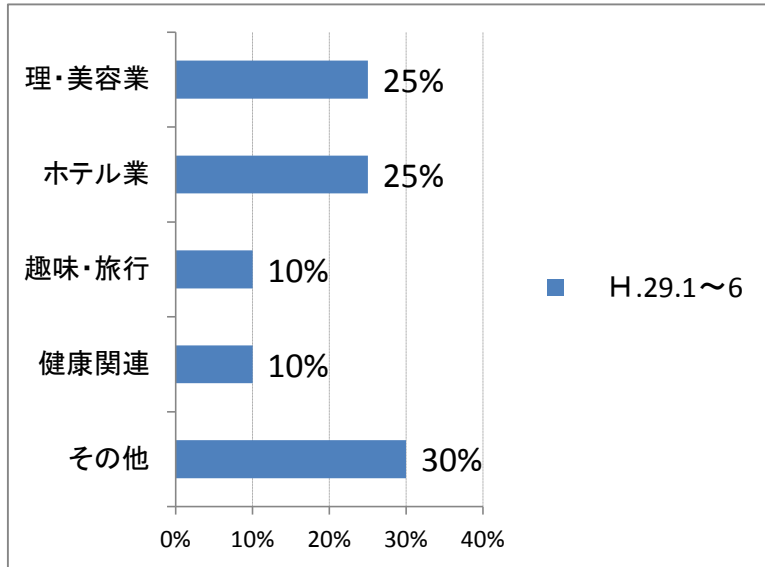


【平成29年7月実施 景況調査アンケート集計結果】

◆◆ サービス業 ◆◆

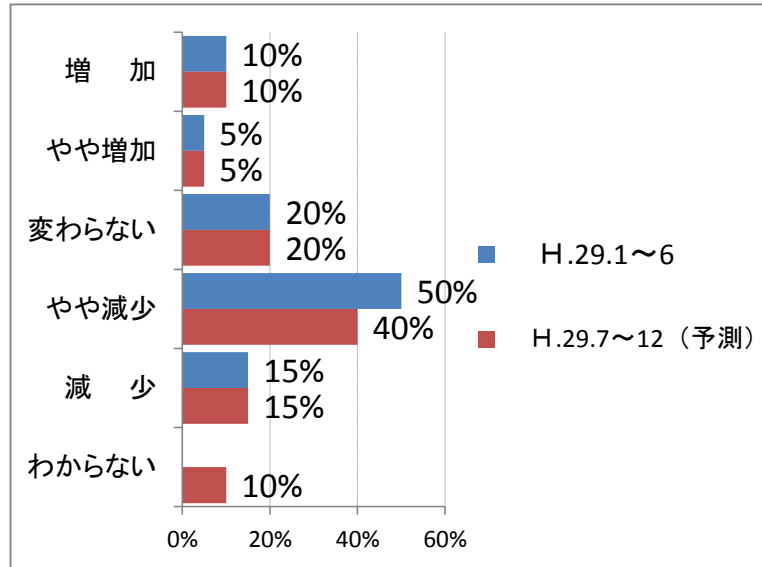
《 集計結果 》

【 分類別 】



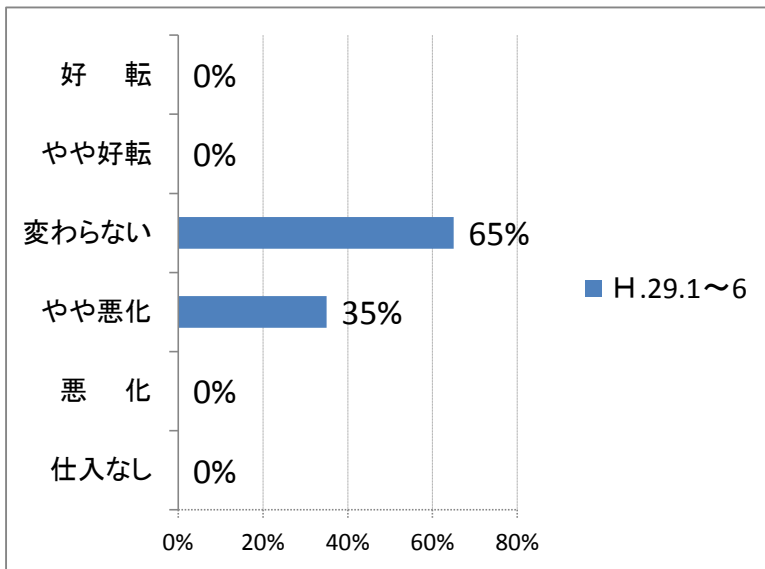
理・美容業25%、ホテル業25%、趣味・旅行10%、健康関連10%、その他30%（衣料品店・クリーニング店他）

【 売上 】



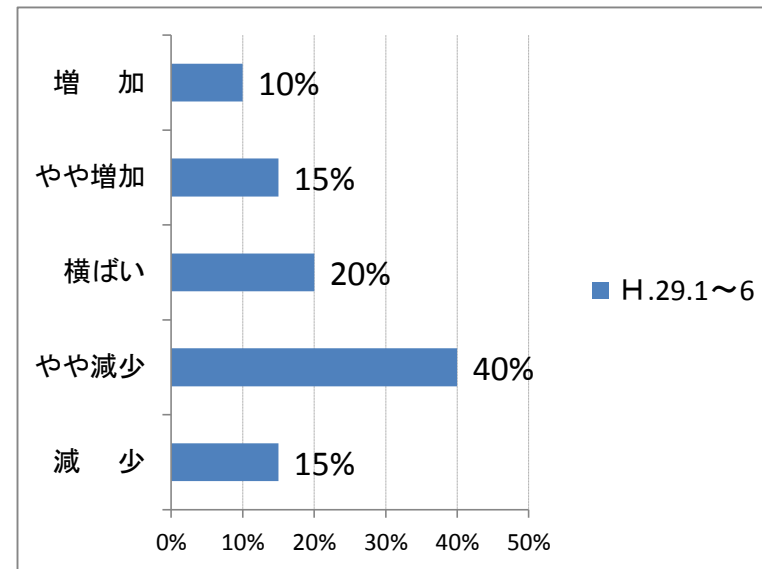
減少とやや減少が65%、増加とやや増加が15%という結果であった。

【 仕入 】



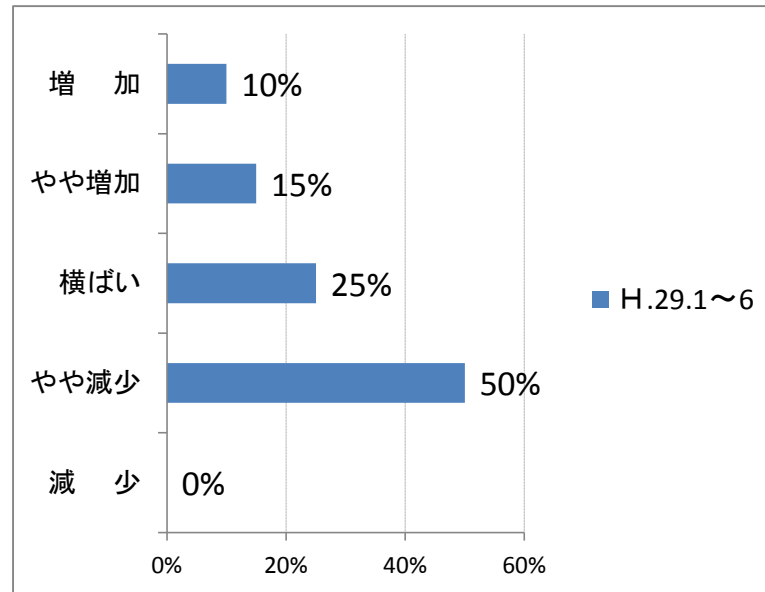
変わらないと答えた事業所が65%、やや悪化と答えた事業所が35%という結果であった。

【 利益 】



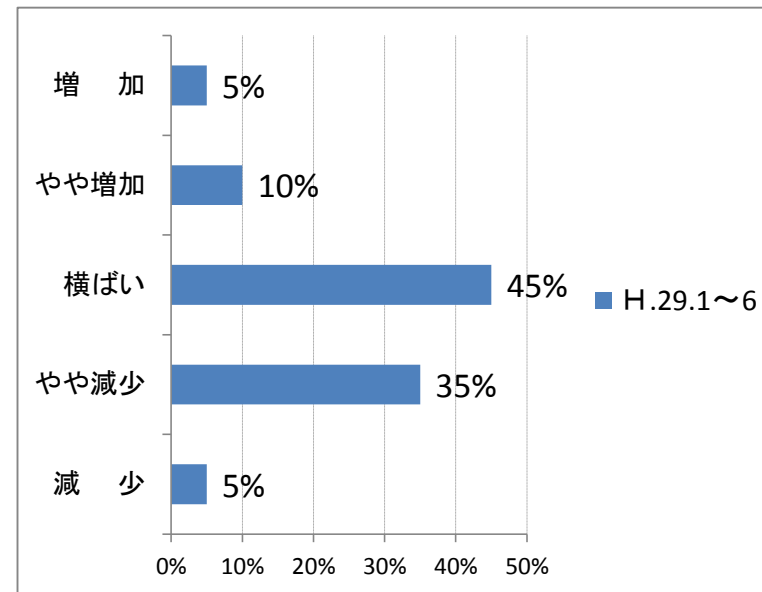
減少とやや減少が55%、増加とやや増加が25%という結果であった。20%の事業所が横ばいと回答している。

【 客数 】



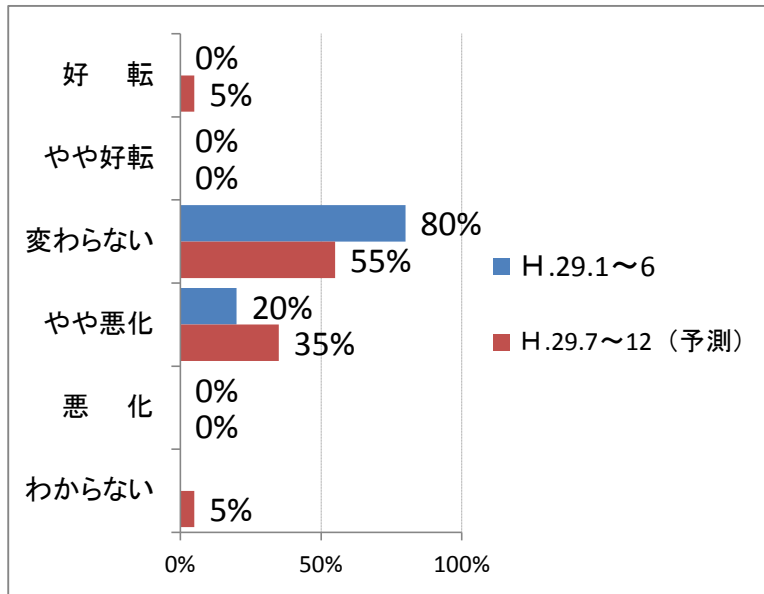
やや減少が50%、増加とやや増加が25%という結果であった。25%の事業所が横ばいと回答している。

【 客単価 】



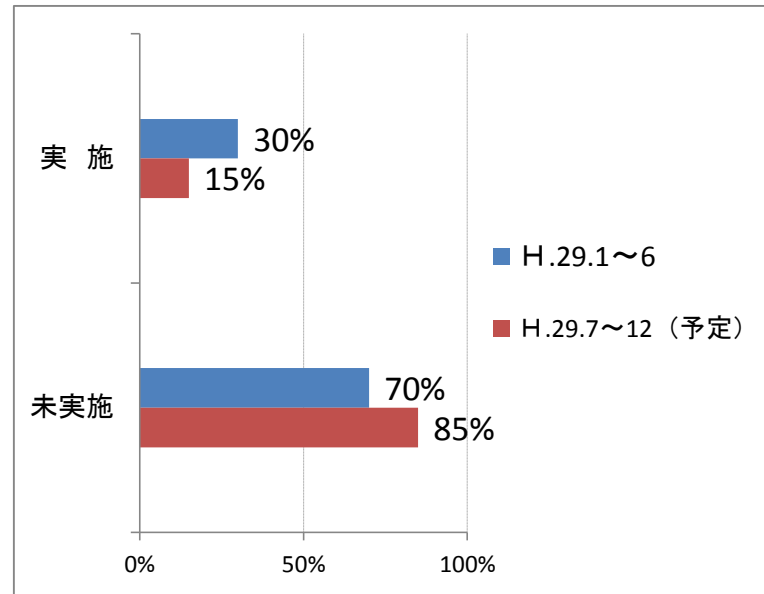
減少とやや減少が40%、増加とやや増加が15%という結果であった。45%の事業所が横ばいと回答している。

【資金繰り】



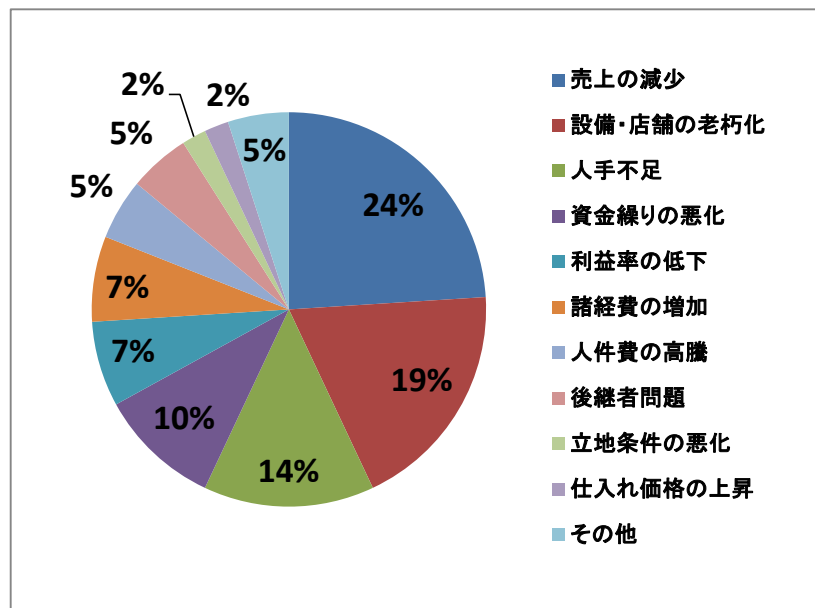
変わらないと答えた事業所が80%、やや悪化と答えた事業所が20%という結果であった。予測として、35%の事業所がやや悪化すると回答している。

【設備投資】



設備投資を行ったという事業所が30%、今後も事業所の15%が設備投資を予定している。

《経営課題》



売上の減少	設備・店舗の老朽化	人手不足	資金繰りの悪化
24%	19%	14%	10%
利益率の低下	諸経費の増加	人件費の高騰	後継者問題
7%	7%	5%	5%
立地条件の悪化	仕入れ価格の上昇	その他	
2%	2%	5%	

経営課題で一番多く挙げられたのが『売上の減少』で24%、次に『設備・店舗の老朽化』19%、『人手不足』14%という結果であった。